

交換留学報告書

* この報告書に記載される内容は多文化社会学部のウェブサイトに記載いたしますので、予めご了承ください。

氏名	山口 美和	学年(渡航時)	4 年
派遣先大学	パリ東・クレティユ大学		
国・地域	フランス・パリ		
派遣期間	2024 年 1 月 ~	2024 年 12 月	

履修科目

1 学期目	
履修科目	授業内容
Doing Business Abroad	多文化な環境を表す理論をビジネスシーンに用いる授業。
Communication and Social Codes	プレゼンテーションのスライドの効果的な利用方法やノンバーバルコミュニケーションなど、言語以外でどうやって効果的にコミュニケーションを取るかを学んだ。
HR	Human Resource について学んだ。実際の事例を基にしたケーススタディが多い。
2 学期目	
履修科目	授業内容
CSR	CSR の概要や最近のトレンドについて学んだ。担当教授がファッション業界の専門であったため、ファッション業界(特にファストファッション)についての講義が多かった。
Business Communication	ビジネスシーンで用いることができる効果的なコミュニケーションの方法を学ぶ。
Global Brand Management	マネジメントの概要を講義で学び、最後には自分たちでブランドを作りそれに関する効果的なプロモーションの方法に関するプレゼンを行った。

留学レポート(1,500 字以上)

私は、フランスのパリ東・クレティユ大学に一年間留学しました。このレポートでは学業面と生活面二つに分けて、書こうと思います。まず、大学では international management コースに所属し、いろいろな国から集まった学生と国際的な視点で経営学を学びました。授業は基本的にディスカッションやプレゼンテーションが多く、学生と教授の相互なコミュニケーションを通して、授業が進んでいきました。フランスは移民や難民が多いので、様々なバックグラウンドを持った学生が集まっており、一つのトピックで話し合っても、多様な意見が出てきてとても面白かったです。また、学生が非常に活発に質問や意見を言うので、最初はその空気感に圧倒されましたが、間違いやどんな意見でも受け入れる環境が整っているのではないかと思います。一番興味深かった授業は、Doing Business Abroad の授業でした。この授業では、多文化な環境を表す理論をビジネスシーンでどのように生かせるかということを学びました。7 次元文化モデル(Trompenaars model)やホフステッドモデル(Hofstede model)などの有名や理論をビジネスや実生活に活かす工夫をグループごとに話し合い、プレゼンテーションを行いました。私のグループはホフステッドモデルを取り上げました。プレゼンテーションでの発表だったので、聞いている人が飽きないように、説明だけでなくゲームや動画を入れ、観客参加型のプレゼンテーションを行いました。英語で文献を調べたり、発表したりすることが大変でしたが、教授や他の学生からの反応も良く、非常に楽しかったです。また、発表準備の時も、文化の違いでもめることもありましたが、それすらも楽しむことができたので、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

次にフランスでの生活面ですが、大変なことが多かった印象です。私自身第 2 外国語でフランス語を取っていませんでした。渡航前は全くフランス語の知識がありませんでした。スーパーで買い物をしたり、店員さんにコピーをお願いしたりするのも苦労でした。しかし、現地で無料開講のフランス語の授業を受けたり、フランス人の友人と遊んだりすることで、ちよつとずつわかるようになり、帰国前には簡単な会話ができるようになりました。「フランス人は冷たい」という噂を聞いたことがある人もいますが、拙いフランス語でも理解しようとしてくれるので大

丈夫です。やはり急に英語で話しかけるといい顔されませんが、挨拶や簡単なフレーズをいうことで円滑にコミュニケーションを取れると思います。それでもやはり、留学前にもっと英語だけでなくフランス語も勉強しておくべきだったと少し反省しています。

続いて、留学時の交友関係ですが、私はフランス人の友人が基本的に多かったです。たまたま日本語を勉強していたり、日本の文化が好きだったりするフランス人の学生が多かったので、その学生たちの遊ぶことが多かったです。パリには日本に関するお店が多く、日本が恋しくなったら、フランス人の友達とよくご飯を食べに行っていました。また、ヨーロッパということで、バスや飛行機ですぐ近く国に行けるので、長期休みやバカンスの時期は、よく旅行に行っていました。多文化社会学部の友人が同じ時期にヨーロッパで留学をしていたので、お互いの国に遊びに行ったり、現地で待ち合わせをして旅行したりしました。一番思い出に残ったのは、イタリア旅行の帰りにシステム障害で飛行機がすべてキャンセルになり、空港に 30 時間滞在したことです。通常はキャンセルされた場合、ホテルや食事などがすぐに提供されるはずなのですが、従業員の労働時間が過ぎたということで、空港に 20 時間ほったらかしにされました。その時はとても困惑しましたが、今となっては日本でなかなか経験できない面白い経験だったと思っています。たくさんの旅行で視野が広がっただけでなく、イレギュラーなことに対する対応力も上がったと思います。

まとめですが、この留学期間は 21 年間生きてきた中で、一番大変で学びが多く、何よりも楽しかった一年でした。この経験を活かして、残りの大学生活、そして大学卒業して就職したあとも、頑張ろうと思います。

留学中の写真(5 枚程度) ※写真のキャプションも入れること



みんなでスナックや飲み物を持ち寄って、公園でピクニックをしました！



憧れのエッフェル塔はとてもきれいでした！



クリスマスマーケットでツリーに飾るオーナメントを選んでいる様子。